

## 知的障害特別支援学級（かがやき）道徳学習指導案

指導者 西本 陽子

- 1 主題名 はたらくことのよさをかんじて 4－（2）協力・勤労
- 2 資料名 わたしのしごと（わたしたちの道徳 小学校1・2年 文部科学省）
- 3 ねらい 働くことのよさを感じて、みんなのために働く態度を育てる。

### 4 主題設定の理由

#### （1）ねらいとする道徳的価値について

本内容項目は仕事に対する誇りや喜びをもち、働くことの意義を自覚し、進んで社会に役立つとする心をもった児童を育成することを目指すものである。

低学年の児童は家族や先生のお手伝いとしての「仕事」が多い。家族や先生に褒められることを喜びにして、手伝いに進んで取り組む姿が見られる。その実態を生かし、働くことで役に立つうれしさ、やりがい、自分の成長などを感じられるようにすることが大切である。特に、学級の清掃や給食などの当番活動、家庭や地域での決められた仕事など、実際の場での意欲や態度に結び付けていくことが求められる。

#### （2）児童の実態について

2年生、4年生の女子2名のクラスである。2名共、みんなのために働くことを楽しいと感じている。係の仕事をするをいやがらず、給食当番や掃除も一生懸命する姿が見られる。しかし、仕事をする喜びというより、周りの人に褒められたい、認められたいという気持ちが強いようである。

当番の仕事など決まったことはできるが、日常の学校生活の中で、すすんで仕事をしてほしいと感じる場面がある。たとえば、凶工の時間に教室にごみが落ちていたり、廊下で水がこぼれていたりする時、児童がすすんで拾ったり、片付けたりすることはほとんどない。言われればするが自ら考え行動することは難しい。働くことで人の役に立つ喜びに気付かせ、みんなのためにすすんで働くこうとする態度を育てていきたい。

#### （3）資料について

本資料では、児童が日常生活で行っているさまざまな勤労に関わる場面が紹介されている。自分の体験とも照らし合わせ、みんなのために働いてよかったと思う経験と、その時の気持ちを振り返る手立てとなるであろう。作文の資料は、身近な題材で共感できると思われる。給食の後にこぼれていたおかずや牛乳を拭き、台ふきをきれいに洗ったことを先生に褒められ、「明日もがんばろう」と意欲をもつ。本資料を通して、仕事の大切さや人の役に立つ喜びを感じることができる。

### 5 指導にあたって

気付く段階では、写真をもとに働く場面を思い出し、実際に行ったことなども発表し合っ資料へとつなげるようにする。

深める段階では、資料の作文を読んで自分の仕事を振り返り、その時の気持ちを発表させたい。

見つめる段階では、係の仕事ぶりに対する友だちからの手紙や、清掃活動の仕事ぶりについての教師からのメッセージなどを取り入れることで、働くことについて考え、学習に集中できるようにしたい。

あたためる段階では、保護者に日頃のお手伝いについて感謝や励ましの手紙を直接読んでもらうことにより、「これからも進んでみんなのために働こう」と意欲をもてるようにしたい。

【研究とのかかわり】

・「価値について考えるための深めの発問」について

中心発問では「先生の言葉を聞いてどんなことを考えているでしょう。」と問いかけ、仕事をするよさを考えさせたい。子どもたちの実態を考慮し、「友だちや先生からのメッセージを聞いてどう思いましたか？」と問うことによって、人のために働くことよさや達成感を想起することを本時における深める場面ととらえ、人の役に立つに喜びに気付かせ、次の働く意欲につなげていきたい。

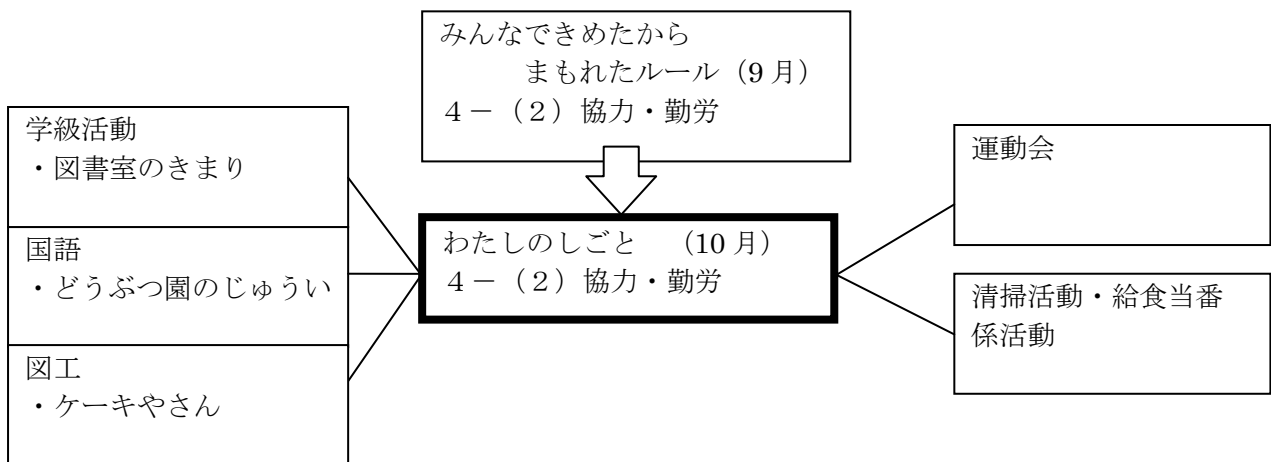
・「児童同士の対話の充実」について

写真や資料を見て発表するときに、「同じです」「わたしも」など友だちの考えに対して自分はどうかを言うようにする。二人学級なので、教師も参加しながら、日頃の仕事について考えさせたい。また、保護者を交えながら、対話の充実を図るようにしたい。

・「補充・深化・統合」について

本時の学習を通して「これからも進んでみんなのために働こう」と、仕事に対してより自主的に取り組めるようにする場とし、本時は「深化」の時間ととらえる。

6 他の教育活動と本時の位置付け



7 資料分析

場面	登場人物の心の動き	◎中心発問 ○基本発問	○深めの発問
○給食の後に、こぼれていたおかずや牛乳を見たところ	<ul style="list-style-type: none"> <li>きたないなあ。</li> <li>きれいにしよう。</li> <li>先生が拭いてくれないかな。</li> <li>このままにしておこう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○こぼれていたおかずや牛乳を見たとき、どんなことを考えたでしょう。</li> <li>○ふかなかつたらどんな気持ちになりますか。</li> </ul>	
○先生に「きれいになったね。ありがとう。」と言われたところ	<ul style="list-style-type: none"> <li>やっぱりふいてよかったな。</li> <li>ほめられてうれしい。</li> <li>また、今度もきれいにしよう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎先生の言葉を聞いてどんなことを考えているでしょう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○友だちや先生からのメッセージを聞いてどう思いましたか。</li> </ul>

8 本時の学習活動

(1) 準備 挿絵, 写真, ビデオ, 手紙

(2) 展開

過程	学習活動	＜教師の働きかけ＞ ・予想される児童の考え 《中心発問》での考えの類型化▽□◇	◎評価 ・指導上の留意点
気付く 10分	1 これまでの仕事について話し合う。	<p>＜草むしりをしたことをおぼえていますか。＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・手が痛くなったよ。</li> <li>・いっぱいむしった。</li> <li>・がんばったよ。</li> <li>・きれいになってうれしかった。</li> </ul> <p>＜学校や家ではどんな仕事がありますか。＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎日掃除をしている。</li> <li>・洗濯たたみのお手伝いをした。</li> <li>・茶碗運びをしているよ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・草むしりをしたときの写真を見せ、その時の気持ちを思い出させる。</li> <li>・仕事をしている写真を見せ、これまでしてきた仕事を想起させて資料につなげる。</li> </ul>
深める 15分  見つめる 10分	<p>2 資料「わたしのしごと」を読んで話し合う。</p> <p>3 自分の体験とその時の気持ちを発表する。</p>	<p>＜こぼれていたおかずや牛乳を見たとき、どんなことを考えたでしょう。＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・きたないなあ。</li> <li>・きれいにしよう。</li> <li>・先生が拭いてくれないかな。</li> <li>・このままにしておこう。</li> </ul> <p>＜ふかなかったらどんな気持ちになりますか。＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・やっぱりふけばよかったな。</li> <li>・いやな気持ちがある。</li> </ul> <p>《先生の言葉を聞いてどんなことを考えているでしょう。》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▽うれしい。</li> <li>□やっぱりふいてよかったな。</li> <li>◇また、今度もきれいにしよう。</li> </ul> <p>《友だちや先生からのメッセージを聞いてどう思いましたか。》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・みんなが喜んでくれてうれしい。</li> <li>・また、やりたいな。</li> <li>・ありがとう。</li> <li>・これからもがんばろう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・挿絵を見て、「わたし」が汚れたはいぜん台を見て迷った気持ちやきれいにしようと思った気持ちを想像させる。</li> <li>・迷った気持ちが出ないときには、「いやだなと思うことあるよね。」と揺さぶったり、「仕方なくやるの。」と問いかけたりする。</li> <li>・友だちの手紙や先生のビデオレターを見て考える。</li> <li>・カードに思ったことを書き、黒板に貼る。</li> </ul>
あたたためる 10分	<p>4 保護者の話を聞く。</p> <p style="text-align: center;"><b>対話</b></p> <p>5 ノートにまとめる。</p>	<p>＜おうちの方にお手紙をよんでもらいましょう。＞</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・お母さんが喜んでくれて嬉しかった。</li> <li>・これからもお手伝いをしよう。</li> <li>・ほかにもいろいろお手伝いしたい。</li> <li>・もっとできることがあるかも。</li> </ul> </div> <p>＜今日の授業でどんなことを思いましたか。＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・はたらくって楽しいな。</li> <li>・みんなによるこんでもらうとうれしい。</li> <li>・これからもがんばろう。</li> <li>・ありがとうっていわれるといいな。</li> </ul>	<p>◎これからも進んでみんなのために働こうという意欲をもつ。 (発言・ワークシート)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・黒板のカードをノートに貼る。</li> </ul>

思考の深まりの順に▽□◇

(◇ 目指す児童の思い)

太字：深めの発問